

老人ホームでかかる費用総額をシミュレーションで大解説！！

これまでに老人ホームの入居金や前払金、月々にかかる費用などをテーマにお伝えしてきました。では実際に貰っている年金や資産を踏まえて、どれくらいの予算を考えれば良いのでしょうか？ 今回はそのあたりを詳しくご説明します。

老人ホームへの入居のご相談をいただいた時、最初に施設の種類や入居金（前払金）の仕組み、月々に掛る費用などをお伝えします。

老人ホームなどの高齢者施設は、施設ごとに入居条件や必要資金が大きく異なります。入居する施設を検討する際には、予算の目途を立てて判断材料になるようにしたいと思います。ご入居される方の資産や収入を把握した上で、初期費用と月額費用から予算を見積もり、無理のない資金計画を立ててください。

有料老人ホームの費用は、地域の不動産価格に比例して変わってきます。お部屋の広さや共有スペースの広さ等でも変化します。「手厚い介護体制」や「看護師が24時間常駐」など、人員体制によっても差があります。

老人ホームに入居すると、日々の生活や食事内容がきちんと管理され、生活の中でのリスクも低くなるため、入居期間は想定以上に長くなる傾向にあります。ご家族としては喜ばしいことですが、その分費用がかさむことも想定しなければなりません。

東京の場合、介護の必要な方が入る施設は、単純平均ではありませんが、感覚的に入居金が1000万円前後、月額利用料は25万円前後が平均的な金額です。また殆どの施設は入居金0円プランを設定していますが、その場合の月額利用料は30万円を超えてきます。この金額はあくまで平均です。先ほどご説明した通り、東京でも市部へ行くと不動産価格の平均は下がりますので、同様に市部へ行くと有料老人ホームのご入居時や月々の費用も変わってきます。

もちろんこれは平均ですので、費用が高い施設や廉価な施設もたくさんあります。お値段が高い施設になればなるほどサービスのレベルが上がり、より安心してご生活できるとお考えください。

費用が高くて無理だと思う前にまず私どもへご相談ください。

また上記以外に、介護保険負担、医療費、嗜好品、趣味などの諸経費は介護保険負担割合1割の方で月々最低3～5万円をがかかりますとお伝えしています。

入居金や月額利用料の詳細については、以前にお送りした「ホームあしすと」で何度か特集しています。

ご興味のある方は私どもにご連絡をいただければお送りできます。またホームページにもアップしておりますので、そちらからもご覧いただくことができます。



§ 資金計画の立て方

資金計画をしっかりと立てるには、「入居期間がどれくらいになるか」「その間にどれくらいの資金が必要か」と、順序立てて考えていくことが必要です。今回は要介護状態でのご入居を想定した資金計画を考えたいと思います。

<手持ち資産>

まずは、自分が支払える費用を検討するために手持ちの資産を検討します。

資産として、銀行の預貯金、退職金、売却可能な不動産や有価証券などを確認します。

売却想定 of 不動産や有価証券などは、事前に現在の相場を調べておきましょう。価値が変動する資産については、低めに想定した金額で考えておいた方が安心です。

- 預貯金とその利息
- マンションや土地など、売却可能な不動産
- 株式や債券など、売却可能な有価証券
- 解約可能な生命保険
- 自動車や家具など、売却可能なその他資産。

<収入>

定期的な収入として、年金や利息、配当や家賃収入などを把握しましょう。

配当や家賃といった変動が見込まれる収入については、ある程度低めに見積もっておいた方が良いでしょう。

- 年金収入
- 有価証券の配当
- 家賃収入



<入居（利用）期間>

求める介護の状況により必要な費用も変わってきます。要介護期間が長くなるようなら、居宅サービスや訪問介護ではなく、介護付老人ホームのような施設を選ぶ必要が出てくるでしょう。

もし自立（介護認定なし）で施設入居を考えているのならば、何歳くらいで要介護期間に入るかなど、健康状態の変化も想定しなければなりません。私どものような紹介センターへのご相談は要介護状態になってからの入居相談が多く、ご年齢も80歳以上の方が殆どです。このような場合大きな疾患がなければ100歳まで利用期間を想定しましょうとお話します。

ニュースで日本人の平均寿命が何歳で世界一の長寿国だと聞かれたことが有ると思います。平成4年の発表で令和3年の平均寿命は男性が81.47歳、女性87.57歳となっています。

「私は平均寿命まであと何歳だからそんなに長生きはしない」と言われるとき「それは今年生まれた人の余命で、仮に80歳の女性だと平均余命はあと約12年あります」とお伝えすると「そんなにあるのか」と驚かれます。

下の表は80歳からの令和3年簡易平均余命表（抜粋）です。100歳の方でも平均余命は男1.91歳、女2.41歳あります。平均余命はあくまで平均値です。

特に大きなご病気の無い方は100歳までのシミュレーションをしないまでも平均余命より2・3割高い設定でのシミュレーションが必要だと思えます。

令和3年平均余命表

男性		女性	
81.47（平均寿命）		87.57	
年齢	平均余命	年齢	平均余命
80	9.22	80	12.12
81	8.63	81	11.37
82	8.06	82	10.64
83	7.51	83	9.94
84	6.98	84	9.26
85	6.48	85	8.60
86	6.01	86	7.97
87	5.56	87	7.36
88	5.14	88	6.79
89	4.75	89	6.25
90	4.38	90	5.74
91	4.04	91	5.26
92	3.72	92	4.80
93	3.43	93	4.38
94	3.15	94	4.00
95	2.90	95	3.66
96	2.67	96	3.35
97	2.46	97	3.08
98	2.26	98	2.83
99	2.08	99	2.61
100	1.91	100	2.41
101	1.76	101	2.22
102	1.62	102	2.06
103	1.48	103	1.90
104	1.36	104	1.76
105～	1.25	105～	1.64

厚生労働省 平成3年簡易生命表より抜粋

<老人ホームへの入居シミュレーション>

それでは具体的に実例を挙げて試算してみましょう。今回は一番ご相談の多い介護付き有料老人ホームへのご入居としました。場所は東京市部と想定しています。

資金シミュレーション

お名前 *****(女性)

年齢： 87 平均余命 7.36

要介護度 要介護1 介護保険負担割合： 1割

検討施設： 介護付老人ホーム *****(女性)

(収入)	預貯金等	1,900 万円		
	年金収入 月/ 17.6 万円	年間	211 万円	
	配当等その他収入	年間	14 万円	
	収入合計/		225 万円	

(支出)	入居一時金	600 万円	合計	600 万円
	月額利用料金 215,000 円(税込)	年間	258 万円	
	その他費用 月/ 5 万円	年間	60 万円	
	支出合計/		318 万円	

上記その他費用内訳	
介護保険	20,000
医療費	8,000
オムツ等雑費	10,000
計	38,000 ←約5万円

左図のポイントをご説明しましょう。

- ・収入はすべて手取額
- ・その他の収入は配当年10万円
- ・支出は消費税等込
- ・その他費用は介護保険負担割合1割で、内訳は表の通り、合計は月額38,000円となっていますが、将来的に介護度が上がったたり、いろいろな費用の上昇を想定し、月/5万円としました。
- ・その他の費用は介護保険2割負担の方で8~9万円
3割負担の方で12~3万円と設定されるとよいと思います

今回は下表のと通りの収支のとなりました。87歳女性の平均余命は7.36歳です。今回は100歳まで何とか資金は足りています。平均余命は切り上げて8年とすると、**95歳**になります。それより5年長くなりました。人の寿命が何歳までかは統計学的には出てきますが、個人では判りません。なるべくゆとりを持ったシミュレーションをして、高齢者住宅へのご入居予算を考えましょう。今回の収支では入居金や月額利用料が想定した金額で大丈夫そうだということです。これが**赤字になった場合はもう少し廉価な施設で検討するか、別の資産を組み入れる必要**があります。収支シミュレーション(試算)はあくまで金銭的なところの目安を表しています。施設探しは求めている(必要な)サービスや環境も大切なポイントです。金額だけでなくいろいろな面から施設探しをしましょう。

	年令	収入	支出	残金
		1,900 万円	600 万円	1,300 万円
0年	87歳	225.2 万円	318.00 万円	1,207 万円
1年	88歳	225.2 万円	318.00 万円	1,114 万円
2年	89歳	225.2 万円	318.00 万円	1,022 万円
3年	90歳	225.2 万円	318.00 万円	929 万円
4年	91歳	225.2 万円	318.00 万円	836 万円
5年	92歳	225.2 万円	318.00 万円	743 万円
6年	93歳	225.2 万円	318.00 万円	650 万円
7年	94歳	225.2 万円	318.00 万円	558 万円
8年	95歳	225.2 万円	318.00 万円	465 万円
9年	96歳	225.2 万円	318.00 万円	372 万円
10年	97歳	225.2 万円	318.00 万円	279 万円
11年	98歳	225.2 万円	318.00 万円	186 万円
12年	99歳	225.2 万円	318.00 万円	94 万円
13年	100歳	225.2 万円	318.00 万円	1 万円

§ まとめ

今回は介護が必要な方が介護付き有料老人ホームへのご入居を想定してシュミレーションをいたしました。他にも高齢者住宅の種類はたくさんありますが、高齢者住宅の中で、費用が一番かかる有料老人ホームのご入居を検討する場合は、このようなシュミレーションが必要だと思えます。

自立度の高い方やご年齢の若い方は想定居住期間が長いだけでなく、お部屋の広さや共有スペース、立地等いろいろと条件を考えなければなりません。趣味の費用なども想定する必要があります。

しっかりした方のご入居を、私どもにご相談いただいた場合、上記のような条件も想定するようにしております。自立度の高い方に関しては、また機会があれば、詳しくご説明したいと思います。

今回のような入居シュミレーションはあくまでも目安です。考えてもいないことが起きることもあります。ゆとりを持った試算が必要です。

もちろんシュミレーションで、すべての資産を考える必要はありません。老後に使おうと考えている資金を想定すれば良いと思えます。

今回はご自宅等の不動産売却を想定したシュミレーションではいたしませんでした。最近のご自宅の売却やリバースモーゲージ、リースバックのような新しいスキームをご検討されて入居をご検討される方のご相談もあります。私どもホームあしすと入居相談室はファイナンシャルプランナーの資格を持ったスタッフもあり、安心してご相談いただけます。

有料老人ホームなど高齢者住宅のご入居を考えていて、入居に向けて費用的なシュミレーションをしたいけど、どこから手を付けたら良いか判らないとお考えのときは、ぜひ私どもへお気軽にご連絡ください。今回のような試算表の作成から、親身になってお手伝いさせていただきます。もちろん費用は掛かりません。



プロの観点で
ご提案します

親身になって
万全サポート

相談費用は
いただきません

もしも迷ったときは・・・ ホームあしすと入居相談室へ

高齢者住宅のちょっとした疑問やご質問などがありましたら、「ホームあしすと入居相談室」へご相談ください。ショートステイのお手伝いも致します。

お陰さまで武蔵野市吉祥寺で創立18年目を迎えました。ご相談者様のお話を丁寧に伺い、施設を知り尽くしたプロの視点から、お一人おひとりに合った施設を探し、親身になってご提案いたします。施設の見学、ご契約、アフターフォローまで、万全の体制でご相談にお答えします。まずはお気軽にご連絡をください。お待ちしております。

高齢者向け住まい紹介事業者届出公表制度 届出番号：20-0122

〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目28-6-107 迦葉武蔵野第3

ホームあしすと
入居相談室

☎ 0120-428-165

受付10:00~19:00 (日曜・祝日は休み*)

<http://senior-support.co.jp/>

ホームあしすと